

1 学校教育目標

- 深く考え、自ら学ぶ人
 - 自他を尊重する心豊かな人
 - 心身ともにたくましい人
- 人権尊重を基調として、社会の変化に対応した知・徳・体の調和のとれた人間性の育成を目指して、全教育課程において、「夢・挑戦・自立」をキーワードとした教育活動を展開する

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	将来への夢や目標をもち、自立し社会に貢献できる人材を育む学校 ○ 一人一人を大切にし、互いの良さを認め合い、個の能力を伸長できる学校 ○ 全ての学校活動を通して、心と体を磨き、豊かな人間性を育む学校 ○ 地域・保護者・学校が手を取り合い、同じ思いで生徒の育成を図る学校
○児童・生徒像	夢や目標をもち、自分で考え、判断・表現・行動し、課題解決できる生徒 ○ 目標に向かって、主体的に学び続ける生徒 ○ 礼儀や友情、思いやりを大切にし、自他を尊重する心豊かな生徒 ○ 自立に向け、何事にも積極的に取り組み、社会に貢献できる生徒
○教師像	主体的かつ的確な判断ができ、組織として迅速に動くことができる教職員 ○ 公務員としての自覚をもち、当事者意識をもって職務を実践する教職員 ○ 生徒の視点に立った「わかる」、「できる」、「楽しい」授業づくりのために、意欲的に研修や授業改善に取り組む教職員 ○ 豊かな人間性と熱意で、生徒の成長のために取り組むことのできる教職員

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

学校の現状

- ・明るく素直な生徒が多く、全校生徒が落ち着いた生活を送ることができている。生徒会が中心となり、学校生活の見直しやボランティア活動などの推進を積極的に行うなど、生徒による自治的活動が充実している。
- ・生徒の成長のためにひたむきに取り組む教職員が多く、熱意をもって職務を行っている。
- ・保護者や地域は、学校の教育活動や行事などの取組に協力的である。

前年度の成果

- ・生徒が主体的に学習に取り組む授業を実践できた。「授業が分かる」肯定的回答の割合が向上した。
- ・生徒がよりよい学校生活について考え、主体的に活動することができた。
- ・3年ぶりに職場体験を実施した。オリンピックアスリートによる講演など、夢や目標を大切に作る気持ちを高める取組などを推進した。
- ・計画通りに小中連携研修が実施できた。意見交換が充実し、授業改善が推進するとともに、子供たちの課題について共通理解を図ることができた。

前年度の課題

- ・学習の定着に課題がある生徒の割合が多い。授業力を向上させ、確かな学力を身に付けられるよう、研修を深めていく。
- ・更に体験活動や自治的活動を充実させ、目標に向かって取り組むことの大切さを感じさせる。
- ・不登校傾向の生徒が一定数いる。意欲が向上するよう、相談体制を更に充実させるとともに、関係機関と連携をはかり、状況改善に努める。

4 重点的な取組事項						
	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R3	R4	R5	R6	R7
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立	○	○	○		
3	関係小学校、地域、家庭との連携			○		

5 令和5年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン
------------	--------------

A 今年度の成果目標	達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題	達成度 ◎○△●
生徒の基礎学力を定着させ、学力を向上させる。	4月区学力調査目標値通過率 53% 年度末定着度確認問題平均正答率 46%	学力調査目標値通過率 国語 52.5% 数学 44.6% 英語 48.5% 平均 48.5% 年度末定着度確認問題平均正答率 国語 61.5% 数学 30.0% 英語 45.2% 平均 45.6%	学力調査目標値通過率は、達成基準に4.5%及ばなかった。加配教員がない中での数学、英語の少人数による指導や放課後補充教室を実施し、基礎学力定着不足解消を図っている。12月に授業改善プランを見直した。	△

B 目標実現に向けた取組み

新・継	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業改善	全教員 全教科	通年	授業のねらいを明確にし、発問や授業形態を工夫する。言語活動や話し合い活動を充実させ、生徒が主体的に学習に取り組む授業を実践する。 国語、数学、英語において、教科指導専門員による授業観察と指導・助言を通して、指導力向上を図る。	年間3回の授業観察・自己申告面接 生徒アンケート	生徒アンケートで授業が分かる 80% 学びのスタイル関連項目 88%	・4月区学力調査自校採点后、分析と授業改善案を作成 ・6、9、1月に授業観察を実施。 ・アンケート「授業が分かる」 4月 68.5% 2月 75.9% 学びのスタイル 4月 57.3% 2月 80.1%	生徒アンケートは目標に達成しなかったが、4月のアンケート結果をもとに授業改善を図った結果、11月にはアンケート肯定的回答が向上した。	△

2 継続	I C T 機 器を活 用した 授業 改善	全教科担 任 全教科	授 業 観 察 日 常 と 自 己 申 告 前 後	I C T 機器及び Google ア プリケーションや AI ドリ ルなどを効果的、効率的に 活用した授業について情 報共有や授業実践を行い、 授業改善を図る。	授業観察と自 己申告面接 生徒アンケ ー ト	授業で I C T 機器が活用さ れている 82%	・ 9月に I C T 機器 を利用した授業観察 を実施した。 ・ アンケート。 84.0%	・ AI ドリルの利用は、 放課後補充や家庭学 習での利用が多かつ たので、アンケート に反映しなかった。	△
3 継続	家 庭 学 習 の 習 慣 化	全生徒 5教科	毎日	年度当初に家庭学習の方 法を指導する。AI ドリルに よる学習を推奨する。 連絡帳に家庭学習内容を 記入させ、毎日提出させ る。家庭学習ができない日 が続く場合は、昼休みや放 課後に学習をしてから下 校・部活参加とする。	連絡帳を毎日 提出 担任が確認を 行う	提出率 90%	・ 連絡帳の提出率は 90%を超えた。 ・ アンケート「家庭 学習を毎日行ってい る」 78.5%	・ 家庭学習は行ってい るが、アンケート には反映されていな い。連絡帳でのやり とりを充実させ、家 庭学習への意欲を向 上させる。	△
4 継続	放 課 後 補 充 教 室	全学年指 導を要す る生徒 数英の2 科中心 時期によ り国理社	水を除 く毎日	教科担当を中心に全校体 制で行う。 各種調査結果からつま ずき箇所を個別に演習す る。既習内容の復習をし、基礎 学力の向上を図る。 年度当初は家庭学習の指 導を行う。 定期考査前は質問教室を 行う。	計画的実施の 確認 年度末確認問 題	年度末確認問 題正答率 46%	・ 年度末確認問題正 答率 45.6% ・ アンケート「放課 後補充の充実」 91.2% ・ 質問教室は、学年、 教科により参加人数 に差があった。	・ 今後、サポートが 必要な生徒を指名 し、参加を促す。	○
5 継続	サ マ ー ス ク ー ル	国語・社 会・数学 理科・英 語の学力 定着度の 低い生徒	夏 季 休 業 日 7 日 間	夏休み前までの学習内容 における基礎的・基本的な 力を定着させる。	前期期末考査	中間考査より 点数が上昇す る生徒 60%	・ 中間考査より上昇 した生徒の割合 1年 52.0% 2年 64.6% 3年 39.8%	・ 全校 52.1% ・ 昨年度の平均 44.3%を上回った。	△
6 新規	STEP UP 検定	全生徒 国語 英語	年間 2回	漢字、英単語についてのテ ストに向けた取組を実施 し、学習意欲の向上を図 る。	検定	国語 80% 英語 78%	国語 合格率 80.0% 英語 合格率 64.6%	・ 漢字は事前の取組 が充実した。英単語 は苦手な生徒が粘り 強く取り組んだ。	△

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒が主体的によりよい学校づくりに参画し、いじめのない、安心して通える学校を目指す。		生徒アンケート 「花畑北中の生徒でよかったと思う」 90%	・アンケート 83.9%	・特に生徒会活動では、よりよい学校生活について主体的に考え、活動することができた。	○
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
人権尊重教育の推進	生徒アンケート「友達や他の人のよさを見つけ、大切にしている」 94%	道徳の授業をはじめ全教育活動で、思いやりの心や命を大切に作る心、規範意識、連帯感、自己肯定感、平和を愛する心を育む教育を推進する。	・道徳の授業や朝礼講話などにおいて人権尊重教育を推進した。11月にいじめ防止ミニライブを実施した。生徒会役員によるいじめ防止啓発運動を実施した。 ・アンケート 91.8%	・道徳授業だけではなく、ミニライブや生徒会役員による取組など、多面的に人権教育を推進した。	○
キャリア教育の推進	生徒アンケート「夢や目標をもっている」60% 「進路指導の取組十分」 85%	主体的に将来を考え自立できる力を育成するために、職業教育や体験活動など、計画的にキャリア教育を推進する。自治的活動の中で自分の役割を果たすことで主体的な体験活動の充実を図る。	・1年生で職業体験及び講話を実施した。アスリートによる講話や国際理解教育などを実施した。 ・アンケート 「夢や目標をもっている」61.9% 「進路指導の取組」 88.8%	・できるだけ体験する活動を増やした。 ・将来の夢や目標が漠然としている生徒が多いが課題である。	○
教育相談の充実	生徒アンケート「悩みを相談しやすい」 90%	相談室、はばたきルーム、特別支援教室の環境及び支援体制を推進する。教育相談・特別支援教育に関する研修及び校内委員会を適宜開催する。	・スクールカウンセラーによる全員面接を全学年で実施した。はばたきルームの環境を更に改善した。 ・アンケート 77.8%	・特別支援委員会の回数及び内容を充実させ、個々の生徒への支援について検討を重ねた。	△
「当たり前のできること」の質向上	生徒アンケート「ルールや挨拶などについて」 95%	挨拶、規律、TPOをわきまえた言葉遣いなど、当たり前のことについて指導する。また、生徒がマナーなどについて考え、主体的に改善するよう支援する。	・7月、11月に授業態度、言葉遣い、挨拶を強化する活動を実施した。その後、生徒会による活動につながった。 ・アンケート 96.4%	・落ち着いた学校生活はできているが、「よりよく」という意識を更に高める。	○

QU調査結果を活用した生徒の支援	WEBQU 2回目の要支援群及割合の減少	1回目の調査後に、学年及び特別支援校内委員会で要支援群及び不満足群の分析及び対応の検討を行い、解決にあたる。	・1回目後は特別支援委員会で要支援群についての支援を検討した。2回目後は、全教職員で支援方法を検討した。	・教職員が同様な着眼点で生徒の支援を行った。	○
重点的な取組事項－3		関係小学校や家庭、地域や外部機関との連携			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
関係機関などと連携した教育活動を充実させる。		関連項目のアンケート 肯定的回答の平均 80%	アンケート平均 76.1%	・地域などと連携した行事は充実した。	△
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
小中連携研修 教員の交流	指導案検討、授業公開などの研修及び共通の教育課題研修を実施する。 授業満足度 85%	生徒が主体的に学習に取り組む授業の指導案検討、研究授業研究協議及び課題研修を行う。	・対面による小中連携研修を7回実施した。授業研究、生徒理解に関する研修などを行った。 中1夏季勉強合宿通所型は、多くの小学校教員が支援を行った。 ・授業満足度 86.5%	・分科会を中心に、小中の接続に向けた意見交換が交わされた。 今後、小中共通ルール構築を検討していく。	○
生徒・児童の交流	小中の交流活動を実施する。 交流の充実 80%	小学校児童への学校説明会 授業及び部活動体験 夏季補充生徒丸付けボランティア 納涼祭	・納涼祭に、本校生徒ボランティアが約65人参加した。近隣の小学生が多く参加し、充実した交流になった。桜花小6年生を招き、授業及び部活動体験を行った。 ・アンケート 64.3%	・中学生が主体的に活動し、小学生が安心できる環境を提供することができた。	△
家庭との連携	学校生活への充実度や満足感 85%	学校だよりの計画的発行や学校ホームページの更新などによる情報提供 保護者会や三者面談などでの丁寧な対応	・学校だより 月1回発行 ・学校ホームページは行事ごとに更新した。 ・校内掲示を充実させた。 ・PTA活動に多くの教員が関わった。 ・アンケート 69.3%	・保護者に学校の取組について十分に理解をしてもらうことができなかった。	△

地域関係者との協働活動	地域ボランティアに多くの生徒が参加する。ボランティアの充実 75%	地域運動会 花の苗植え活動 納涼祭 中学生消防隊 西の市巡回 (教員)	地域運動会、祭礼、住区まつり、児童館まつり、避難所運営訓練にボランティア生徒が参加した。中学生消防隊が避難所運営訓練で消防訓練を行った。 PTAと西の市巡回 (2回) ・アンケート 81.5%	多くの地域行事で、予定人数以上のボランティアが集まった。地域に貢献しようという思いが強い生徒がいる。	○
地域や外部人材を活用した教育活動	外部人材を活用した教育活動の充実 80%	職場体験 職業講話 高校の先生の話聞く会 進路説明会 面接練習	1年 職業体験、職業講話 (イラストレーター、建築家、マジシャン、美容師、グラフィックデザイナー) 2年 職場体験 (14 事業所) 3年 進路説明会・マナー講座 地域関係者による面接指導 オリンピック銀メダリストの講演 いじめ防止講話 国際理解教育 ・アンケート 90.1%	・1年生職業体験などで、新たな体験活動を実施できた。 ・白檜祭で地域の方による獅子舞披露など、地域関係者との関係を強化できた。	○

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

重点的な取組事項－1 基礎学力の定着と向上

【今年度の成果】

- ① 各教科で足立スタンダードによる授業を展開した。計画的に授業観察や研究授業を実施し、生徒が主体的に学習に取り組む授業を実践できた。教育指導課訪問を実施し、教育指導課指導主事から助言を受けた。アンケートの肯定的回答の割合は、4月より2月の方が上回った。
- ② 授業や放課後補充、サマースクール、長期休業中の宿題などにおいて ICT 機器の活用が進んだ。サマースクールでは1年でAIドリルを活用した数学特訓を実施した。機器の活用に関する生徒アンケートは、肯定的回答の割合は、4月より2月の方が10%上回った。

【課題及び解決の方向性】

- ① 4月に実施した区学力検査の目標値通過率が目標を達成できなかった。更に授業改善などを推進し、より「分かる授業」を目指す。
- ② 家庭学習をAIドリルで実施したが、アンケートでは毎日実施している割合は80%を下回った。家庭学習の確認方法や支援方法を工夫し、実施率を向上させる。

重点的な取組事項－2 豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立

【今年度の成果】

- ① 生徒会役員が中心となり、靴下の決まりを見直した。よりよい学校生活について考え、挨拶や言葉遣いなどを更に向上させるよう活動した。ルールや挨拶についてのアンケートでは、肯定的回答の割合が目標をわずかに下回ったが、良好な割合だった。
- ② 道徳の授業を中心として、全教育活動で、人権尊重教育を実施できた。ゲストティーチャーによるいじめ防止講演を実施した。いじめが発生した際にはできるだけ早急に対応することができた。
- ③ 1年生で職業体験や職業講話など、新しい取組を実施した。オリンピックアスリートによる講演など、夢や目標、あきらめない気持ちを大切に取る取組などを推進した。

【課題及び解決の方向性】

- ① キャリア教育についての生徒アンケートは目標値を超えたが、夢や目標をもつことについては、区平均を下回っている。身近な目標を設定し、達成に向けて取り組む経験を重ねることで、目標に向かって取り組むことの大切さを感じさせる。
- ② スクールカウンセラーによる全員面接を全学年で実施するなど、相談体制の充実に努めたが、生徒アンケートでの評価は低かった。更に校内委員会を実施し、生徒が相談しやすい体制づくりに努める。

重点的な取組事項－3 関係小学校や家庭、地域や外部機関との連携

【今年度の成果】

- ① 年間計画通りに小中連携研修が実施できた。サマースクールでは小学校の教員に協力をしてもらい、数学特訓を充実させることができた。昨年度できなかった連合運動会練習における保健体育教員及び陸上部員による指導を行った。子供たちの課題について共通理解を図ることができた。
- ② 納涼祭や授業・部活動体験を昨年度から方法を改善して実施した。中学生の積極性と人を思いやる気持ちの向上が見られた。
- ③ 白樫祭で地域の獅子舞を披露していただくなど、地域関係者に協力をいただきながら教育活動を進めることができた。今後も地域の学校として教育活動を推進していく。

【課題及び解決の方向性】

- ① 区学力調査の目標値通過率は、大きく改善しなかった。9年間の学びで、確かな学力を身に付けられるよう、研修を深めていく。
- ② 小中の交流についての生徒アンケート、家庭との連携についての保護者アンケートの結果が目標を下回った。生徒には交流の意義の理解を深化させる。保護者には学校活動の広報活動を更に推進する。

(2) 保護者や地域へのメッセージ

今年度は、ほとんどの学校行事を制限なしで実施しました。特に白樫祭舞台の部は、在校生全員、3分の2の教職員が初めて経験する行事となりました。生徒と教職員が意見交換を重ね、与えられた時間の中で最高の表現をするために全力で準備を重ねました。仲間と作り上げることの大変さ、大切さを学びました。生徒会役員による学校のきまりの見直しやいじめ防止アピール、生活環境委員によるSDGsの取組など、生徒が主体的に取組活動を多く実施しました。また、生徒が地域で活躍する機会をたくさんつくっていただきました。7月に行った納涼祭では、半数以上の生徒がボランティア活動に関わりました。その後も、多くの地域行事にボランティア生徒が協力することができました。生徒が地域で活躍し、認められる機会は大変貴重なものでした。今後も、教職員全員が全生徒に向かい合って、信頼関係を構築し、「夢・挑戦・自立」をキーワードとし、目標に向かって挑戦を続けることで、花畑北中に誇りを持ち、自立に向け成長を続ける生徒を育てるよう、教育活動を進めて参ります。